



# 日高山脈博物館だより

HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

通算 第58号 2019.10.

## 日高山脈ネイチャーセミナー2019「日高のジオサイトへ行こう」を開催しました

**日高には、ジオサイト（地質の見所）がたくさん！その一つ一つを訪れます！**

9月8日に、岩石地質講座「日高のジオサイトへ行こう」を開催しました。

ジオサイトとは、特徴あるジオ〔地質（地層、岩石、鉱物、化石など）や地形〕が見られる場所や、ジオと人との関わりを示す場所、ジオを案内・展示・解説などすることができる拠点、例えば博物館などの施設のことです。

日高には、当博物館を含め、そのジオサイトがたくさんありますが、今回はそのうちの1つ、岩内岳かんらん岩体とその周辺の地質を、株式会社ハタナカ昭和様にご協力いただき、観察しました。主な見所は、岩内岳周辺のかんらん岩とCO<sub>2</sub>の地中貯留実験を行なった蛇紋岩の露頭です。かんらん岩は、地球のマントルを構成する岩石で、マグマの元となっている岩石です。そのような地下深くのかんらん岩がそのまま地上に現れることはたいへん珍しいことです。たいていは地上に現れるまでに蛇紋岩になってしまうからです。かんらん岩が見られるジオサイトとして、北海道では様似町のアポイ岳周辺が有名ですが、実は日高にもかんらん岩があるのです。

今回は、これらを研究している、加藤孝幸氏（当館顧問）をお招きし、日高のかんらん岩や蛇紋岩について、さまざまな角度からそれぞれの露頭について詳細な観察を行ないました。参加者の皆さんの様子からは、日高の地質への興味が高まったようでした。

なお、11月3日開催予定の、日高山脈ネイチャーセミナー2019「岩石を顕微鏡で見てみよう」は、同じかんらん岩ですが、日高山脈の一部で見られる、地殻変動の影響を著しく受けたものを岩石薄片にして、顕微鏡で観察しようと考えています。岩内岳かんらん岩と比較してみるとその違いが大変よく見えると思います。

来年度も、今回同様に、日高のジオサイトを訪問できる事業を開催したいと考えていますので、皆様のご参加をお待ちしております。

